

専門研修「中堅保育士」

【日時】	第1回 令和3年10月29日(金)、11月1日(月) 9:00~17:00 第2回 令和3年11月10日(水)、12日(金) 9:00~17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	125名(第1回、第2回合計)
【講師】	大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授 石井 章仁 氏 保育環境アドバイザー 井上 さく子 氏 湘南ケアアンドエデュケーション研究所 所長 増田 まゆみ 氏 藤田・戸田法律事務所 弁護士 藤田 香織 氏 社会福祉法人八越会 ちどり保育園 副園長 吉岡 敦志 氏 東京家政学院大学 現代生活学部 児童学科 准教授 和田 美香 氏 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 人間総合科 准教授 生田 倫子 氏
【研修内容】	<目的> 保育園運営の中核を担う保育士として、期待される立場と職務の重要性を認識し、保育の資質向上に関する専門知識及び支援策を習得することにより、職務遂行能力の向上を図る。 <内容> ①保育所保育指針に基づいた 保育者と保護者の関わり ②後輩指導、中堅職員としての役割 保育者間のコミュニケーション ③実践につながる指導計画の立て方 ④法的根拠書類としての視点に基づく 保育記録の取り方 ⑤危機管理
【受講生の声】	・保育の意図と成果を保護者に理解してもらえているか、自分の保育を振り返って良かったと思いました。 ・子どもの伴走者になれているか、子どもの姿を真ん中に保育が出来ているか、振り返ることができた、いい機会となりました。 ・指針や計画の立て方は分かっているようで、意識できていない事が多く、改めて大切さを感じる有意義な研修でした。 ・法的根拠に基づく保育記録の取り方について、専門家の視点で保育事故や個人情報について聞くことができ、意識すべきポイントがよく分かりました。 ・危機管理に関して「OODA ループ」の方法を初めて知りました。ちょうど保育で実践できる所があったので、さっそく取り組んでいきたいです。



<講義の様子>